

令和 6 年度

学 校 要 覧

大地に根ざす



本校は昭和40年、全国で初めて職業科を設置した高等部校として誕生しました。



北海道白樺高等養護学校

〒061-1264 北広島市輪厚621番地 1

☎ 学 校 (011) 376-2353 (代表)
376-2024 (FAX)

寄宿舍 376-2433

<http://www.shirakabakoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp>

校歌

作詞・手戸みち子
作曲・川添登世子
田中ふゆみ

一、光ゆたかにあびて立つ
わが学舎に集い寄る
友よ共に手をととりて
若き今日を上げもうよ

二、晴れたる空につらなれる
恵庭の峰のすがしき日
友よ共に仰ぎ見て
若き夢をかたろうよ

三、大地に根ざす白樺の
強き力を心とし
友よ共に声高く
若きよろこび歌おうよ



校歌のゆらい

創立当初、「手のひらを太陽に」を歌っていましたが、昭和44年、手戸みち子（作詞）、川添登世子・田中ふゆみ（作曲）の各職員によって校歌が作られ、5周年記念行事の際に披露されました。覚えやすいメロディーと力強い歌詞が生徒にも好評で、今もなお愛唱されています。



校章のゆらい

創立当時、生徒から「帽子に校章がないのが嫌だ」という声が挙がり、生徒から募集したところ「白樺の葉がいい」ということになり、職員と生徒が共同で白樺の葉を図案化して制定しました。



沿 革 の 概 要

昭和40年4月	札幌養護学校を仮校舎として入学式挙行、授業開始（第1学年生徒数 45名）	平成5年4月	モデル高等部事業第3年次
ㄥ 40年7月	札幌郡広島村字輪厚に校地決定	ㄥ 5年9月	7学科 21学級 生徒数 205名 全日本特殊教育研究連盟全国大会（北海道大会）会場校
ㄥ 40年12月	校舎新築第1期工事完了 直ちに校舎移転	ㄥ 6年4月	7学科 21学級 生徒数 198名
ㄥ 41年1月	校旗制定	ㄥ 7年4月	7学科 21学級 生徒数 195名
ㄥ 41年11月	校舎新築第2期工事完了 職員数 26名	ㄥ 7年11月	開校30周年記念式典挙行
ㄥ 42年11月	校舎新築第3期工事完了 落成式挙行	ㄥ 8年4月	7学科 21学級 生徒数 191名
ㄥ 43年3月	第1回卒業証書授与式挙行（卒業生 30名）	ㄥ 9年4月	7学科 21学級 生徒数 189名
ㄥ 44年4月	開校5周年記念事業実施（校歌制定、教育計画作成、公開授業）	ㄥ 10年2月	石狩管内教育実践奨励表彰受賞
ㄥ 50年3月	校舎増改築第1期工事完了	ㄥ 10年4月	7学科 21学級 生徒数 182名
ㄥ 50年12月	校舎増改築第2期工事完了	ㄥ 11年4月	7学科 21学級 生徒数 175名
ㄥ 51年11月	開校10周年記念式典挙行	ㄥ 12年4月	7学科 21学級 生徒数 171名
ㄥ 56年4月	学校名を「北海道白樺高等養護学校」と改称	ㄥ 13年4月	7学科 21学級 生徒数 171名
ㄥ 56年9月	国際障害者年祈念事業（記念誌発行、記念植樹、視聴覚機器整備）	ㄥ 13年10月	全日本特別支援教育研究連盟全国大会（北海道大会）主管・会場校
ㄥ 60年11月	開校20周年記念式典挙行	ㄥ 14年4月	7学科 21学級 生徒数 168名
ㄥ 61年2月	北海道教育実践表彰受賞	ㄥ 14年10月	北海道知的障害養護学校教育研究協議会研究報告会主管・会場校
平成元年3月	校舎改築第1期工事（管理棟・学習棟）完了	ㄥ 15年3月	柔剣道場新築工事完了
ㄥ 元年4月	第1学年生徒30名増募（第1学年 7学級 生徒数 85名）	ㄥ 15年4月	7学科 21学級 生徒数 165名
ㄥ 元年12月	校舎改築第2期工事（実習棟）完了	ㄥ 16年4月	7学科 21学級 生徒数 173名
ㄥ 2年3月	校舎改築第2期工事（寄宿舍棟）完了	ㄥ 17年4月	7学科 21学級 生徒数 173名
ㄥ 2年4月	第1学年5学科制に移行（産業・木工・工業・家庭・クリーニング科） 学級数 16学級 生徒数 196名	ㄥ 18年4月	7学科 21学級 生徒数 171名
ㄥ 2年10月	校舎改築第3期工事（体育館）完了	ㄥ 19年4月	7学科 21学級 生徒数 167名
ㄥ 2年11月	校舎改築第3期工事（モデル高等部校舎、グラウンド）完了	ㄥ 20年4月	7学科 21学級 生徒数 164名
ㄥ 3年4月	モデル高等部（生活園芸科・生活窯業科）開設 7学科 17学級 生徒数 204名	ㄥ 21年4月	7学科 21学級 生徒数 163名
ㄥ 3年12月	プール新築工事、改築外構工事（テニスコート他）完了	ㄥ 22年4月	7学科 21学級 生徒数 159名
ㄥ 4年4月	7学科 19学級 生徒数 186名	ㄥ 23年4月	7学科 21学級 生徒数 167名
ㄥ 4年11月	校舎落成記念事業実施（式典及び関連事業）	ㄥ 23年7月	高等学校における発達障がい支援連携モデル事業・協力校
		ㄥ 24年4月	7学科 21学級 生徒数 166名
		ㄥ 25年4月	7学科 21学級 生徒数 164名
		ㄥ 26年4月	7学科 21学級 生徒数 164名
		ㄥ 27年4月	7学科 21学級 生徒数 167名
		ㄥ 27年11月	開校50周年記念式典挙行
		ㄥ 27年12月	開校50周年記念公開研究会
		ㄥ 28年2月	石狩管内教育実践奨励表彰受賞
		ㄥ 28年4月	7学科 21学級 生徒数 167名
		ㄥ 29年4月	7学科 21学級 生徒数 156名
		ㄥ 30年4月	7学科 21学級 生徒数 155名
		ㄥ 31年4月	7学科 20学級 生徒数 148名
		令和2年4月	7学科 19学級 生徒数 145名
		ㄥ 3年3月	園芸科閉科
		ㄥ 3年4月	6学科 18学級 生徒数 141名
		ㄥ 4年4月	6学科 18学級 生徒数 142名
		ㄥ 5年4月	6学科 18学級 生徒数 140名
		ㄥ 6年4月	6学科 18学級 生徒数 139名



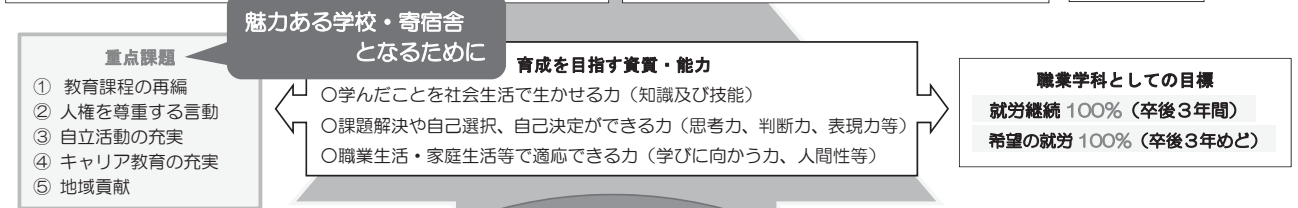
北海道白樺高等養護学校グランドデザイン(2024)

校訓
「自主 自主 自省」

学校教育目標
自己の能力を伸ばし、心豊かに、たくましく生きる人を育てる
～ 自主・自立・自省の姿勢を身に付け、
青年期の人格形成を図る ～

歴史と伝統の継承
・
SHINKA
(深化・進化・伸化・真価)

目指す学校の姿 生徒にとって 「自主的・主体的に学習し、生きる力を育む」学校 保護者にとって 「信頼し、子どもの自立・社会参加を託せる」学校 地域社会にとって 「地域に開かれ、説明責任を果たす」学校 教職員にとって 「専門性を発揮でき、やりがいのある」学校	目指す教職員の姿 生徒理解の基、自主性・主体性を尊重する教職員 生徒・保護者・同僚と傾聴と対話する教職員 専門性向上のため、学び続ける教職員	基本指導観 「率先垂範」 「共汗協働」 「師弟同行」 「凡事徹底」
---	--	--



安心・安全な学校 ○人権尊重 敬称徹底、体罰・いじめの防止、相手意識 ○言語環境 挨拶、敬語、適切丁寧な会話 ○個性尊重 実態把握、合意形成、合理的配慮、傾聴・対話、自主性・主体性 ○情緒の安定 自立活動、SCの活用 ○危機管理・環境整備 防犯・防災対策、健康安全指導、交通安全、情報管理、施設設備対策、整理・整頓・清潔(清掃) ○SDGsの視点 ○適正な財政処理、金銭管理	連携・信頼のある学校 ○保護者や関係機関との連携 共に成長を実感、説明責任、PTA活動の充実、専門機関・医療機関等と情報共有 ○組織的な業務推進 「かくれんぼ」の徹底、学舎の連携、参画意識・目的意識 ○進路指導(キャリア教育)の充実 自己(他者)の理解・受容、経験・体験の拡大、自己選択・決定、就労継続 ○生徒指導・生活指導 個に応じた指導、集団・個別指導、自己指導能力、発達支援の生徒指導、予防的生徒指導、食育指導の推進、 ○ICT教育 活用、充実、機器・環境整備 ○教職員の規範意識 服務規律の遵守、適切な言動・服装	開かれた学校 ○地学協働 CS(学校運営協議会)の充実、北広島市(BP、地元産木材利用)、西部地区(バス停清掃、清掃活動、交通安全運動、行事参加、製品販売会、受注等)、NEXCO 東日本(輪厚PA販売会、バス停清掃活動) ○特別支援教育のセンターの役割 専任 Co、PT 派遣事業 ○情報発信 HP、各種だより、公開研修会 ○学校見学 ○交流及び共同学習 地域：西部小学校、西部中学校、北広島高校 近隣：文教大附属高校、とわの森三愛高校 ○学生ボランティア 部活指導	働きがいのある学校 ○北海道アクション・プラン 健康で豊かな生活、教育の質の向上、学校開庁日(学校が設定する日)、定時退勤日、時間外勤務の削減 ○専門性の向上 研修充実、新たな研修制度、授業・生活指導の評価・改善・構築(PDCA) ○学校運営への参画 教員育成指標、校内人事の活性化、人材育成、業務の効率化・伝達化 ○人事評価シート(学校設定項目) 自分の強み(仕事観)、白樺の強み(教育観) ○課題意識・問題意識・改善意識・解決意識
--	---	--	---

1 指導の重点

(1) 学習指導

各教科、総合的な探究の時間、作業学習の充実を図り、個別の教育プランを基に、働く喜びと意欲・社会自立に必要な資質や能力を育てる。

(2) 生徒指導

個別の教育プランを基に、きめ細やかな生徒理解に基づいた生徒指導を行い、主体的・自立的に生活する意欲を育てるとともに、望ましい人間関係の育成と余暇を活用する態度や習慣を育てる。

(3) 健康安全指導

学校保健安全計画を基に、学校行事や日常の学習活動のあらゆる場面で健康・安全に関する指導を行い、健康の維持、増進と安全な生活を送る態度や習慣を育てる。

(4) 健康安全指導

個別の教育プランを基に、生徒一人一人の個性や能力に応じるとともに、時代の変化に対応した進路選択ができるよう指導に努める。また、卒業後の進路を考え、その実現に向けて努力する態度や習慣を育てる。



美術（スケッチ）



体育（創作ダンス）



工業作業



職場実習

2 教育課程

(1) 年間授業日数

学 年 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
1 年	14	21	20	19	4	19	22	20	18	9	17	15	198
2 年	15	21	20	19	4	19	22	20	18	9	17	15	199
3 年	15	21	20	19	4	19	22	20	18	9	17	6	190

(2) 年間授業時数(再掲)

指 導 形 態 \ 学年・学科		全学科	全学科	全学科
		1	2	3
各教科等を合わせた指導	日 常 生 活 の 指 導	97.2	97	95.8
	生 活 単 元 学 習	48	48	86
	作 業 学 習	347	347	342
	体 力 つ く り	173	173	171
	小 計	665.2	665	694.8
各教科等の授業	国 語	35.5	55	0
	社 会	25	25	0
	数 学	35.5	55	0
	理 科	27	24	0
	音 楽	35	35	35
	美 術	35	35	0
	保 健 体 育	70	70	68
	職 業	0	0	52
	家 庭	35	35	0
	情 報	34		
	選択教科	生 活 技 術	0	68
		造 形 美 術	0	
		情 報 処 理	0	
	小 計	332	334	223
	主として 専門学科 において 解説され る各教科	家 政	0	0
		農 業	0	0
		工 業	0	0
		流 通 サ ー ビ ス	0	0
		福 祉	0	0
	道 術	0	0	0
	特 別 活 動	35	35	35
	自 立 活 動	0	0	0
	小 計	35	35	35
総合的な探究の時間		70	68	136
合 計		1,102.2	1,102	1,088.8

(3) 日課及び週時程表

曜日		月			火			水			木			金				
校時	学年	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3		
登校 8:50 9:00		朝のHR			朝のHR			朝のHR			朝のHR			朝のHR				
9:10 9:15																		
1校時		体力づくり			体力づくり			体力づくり			体力づくり			体力づくり				
10:00 10:10																		
2校時		作	作	職業 音楽3HR	国語	数学	数学	作	国語／数学	国語	職業	社会	理科	理科	作	作	職業	
10:55 11:00																		
3校時		業	業	職業	数学	情報	保健 美術／家庭 体育	業	作	作	選択 教科※	音楽	社会	美術 保健／家庭 体育	業	業	保健 体育	
11:45 11:50														社会			音楽	
4校時				音楽3HR	情報	国語			業	業		社会					業	
12:35 13:20																		
		給食・休憩																
5校時		保健 美術／家庭 体育	国語	作	美術 保健／家庭 体育	社会	音楽3HR	作	作	作	総合的な 探究の時間	総合的な探究の時間 (全校活動等)				LHR		
14:05 14:10																		
6校時		業	数学		業	業	業	業	業	業	業	協議会 (14:50-15:20)				帰りの会		
14:55 15:10																		
15:10 15:20		帰りのHR			帰りのHR			帰りのHR			帰りのHR							
下校 15:20 (16:50)		(部活動)			(部活動)			(部活動)			(部活動)							

※「家庭生活」「造形美術」「情報処理」から選択

(4) 寄宿舎の日課表

時 程	曜 日	月	火	水	木	金	土	日		
6：30		起床（寝具整理・洗面・舎室の整理整頓）					自由時間	自由時間		
7：00		舎室集合・舎室清掃・配膳								
7：30		朝食								
8：00		登校準備・登校								
8：45		学 校 の 生 活								
14：20										
15：20										
15：20		自由時間	入浴・自由時間	自由時間	入浴・自由時間	自由時間				
17：45		夕食								舎室集合 配膳・夕食
18：35		係活動		自由時間						自由時間
19：10		分担区域清掃・舎室活動								舎室活動
20：00		自由時間・洗面・消灯								自由時間・洗面・消灯
21：30										

(5) 主な年間行事予定

4月	始業式 入学式 身体測定 視力検査 新入生歓迎会 保護者懇談会（3年） 保護者懇談会（舎） 耳鼻科検診 歯科検診 心電図・胸部X線検査（1年） 職業相談（3年）
5月	屋外体力づくり開始 内科検診 眼科検診 保護者懇談会（1・2年） 労働週間（2年） 見学旅行（3年） 避難訓練 前期職場実習（2年） 防災教室 総合避難訓練
6月	労働週間（1・3年） 職業適性検査（3年） スポーツ大会 棟レクリエーション（舎） 学校見学会 前期生徒総会
7月	保護者懇談会（3年） 職場見学（2年） 棟レクリエーション（舎） 芸術鑑賞会 生徒会交流 終業式
8月	始業式 生徒会役員選挙
9月	実習決意発表会（2・3年） 後期職場実習（2年） 現場実習（3年） 職場・福祉サービス事業所見学（1年） 実習報告会（2年） 労働週間（2年）
10月	労働週間（1・3年） 実習報告会（3年） 保護者懇談会 避難訓練（舎） 保護者職場・福祉サービス事業所見学① しらかば店 宿泊研修（2年）
11月	学校祭 生徒会交流（北広島高校） 保護者職場・福祉サービス事業所見学② 棟レクリエーション（舎） 屋内体力づくり開始
12月	生活体験発表会 クリスマス会（舎） 終業式 音楽交流（北広島高校）
1月	始業式 生徒会役員選挙
2月	校外スキー（3年） 保護者懇談会（2・3年） 卒業生を送る会・感謝する会 送別会（舎） 後期生徒総会
3月	卒業式 保護者懇談会（1年） 終業式

3 学科編制

(R6.5.1)

学年 性別 学科	1年			2年			3年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
生産技術科	7	1	8	5	3	8	5	1	6	17	5	22
木工科	8	0	8	8	0	8	6	0	6	22	0	22
工業科	8	0	8	7	1	8	8	0	8	23	1	24
家庭総合科	6	2	8	3	5	8	4	3	7	13	10	23
クリーニング科	7	1	8	3	5	8	3	5	8	13	11	24
窯業科	5	3	8	6	2	8	7	1	8	18	6	24
計	41	7	48	32	16	48	33	10	43	106	33	139

4 生徒の実態

(1) 年齢別生徒の実態

(R6.5.1)

年 齢		15	16	17	18～	計
男	1年	39	2	0	0	41
	2年	0	29	3	0	32
	3年	0	0	29	4	33
女	1年	7	0	0	0	7
	2年	0	15	1	0	16
	3年	0	0	8	2	10
計		46	46	41	6	139

(2) 通学形態別生徒数

(R6.5.1)

区分 性別 学年	寄宿舎通学			自宅通学			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	22	6	28	19	1	20	41	7	48
2年	12	10	22	20	6	26	32	16	48
3年	26	4	30	7	6	13	33	10	43
計	60	20	80	46	13	59	106	33	139

(3) 振興局別生徒数

(R 6. 5. 1)

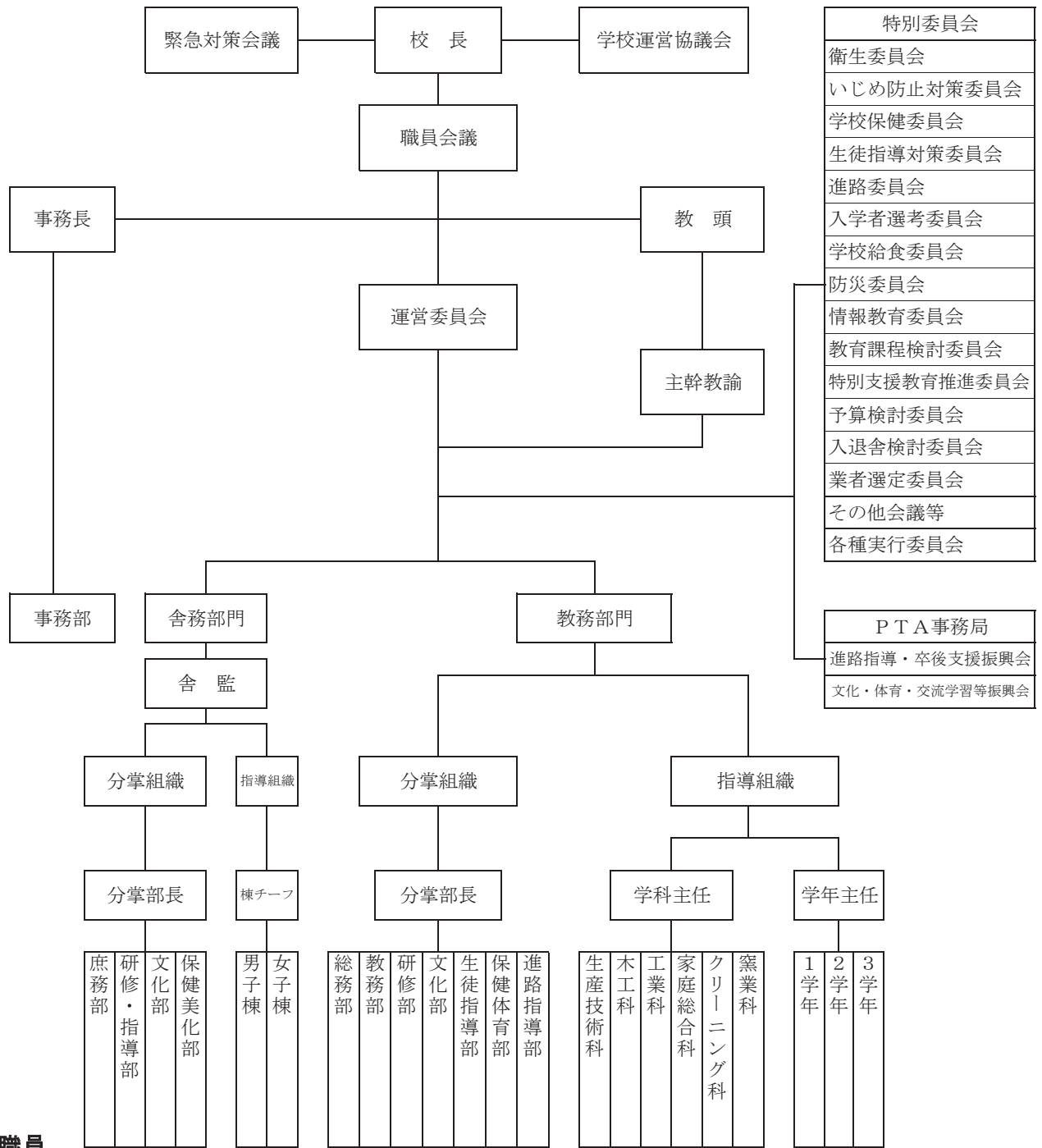
振 興 局	市 町 村	学 年			計
		1 年	2 年	3 年	
石 狩	札 幌 市	19	16	17	52
	江 別 市	3	0	1	4
	恵 庭 市	5	6	3	14
	千 歳 市	3	4	8	15
	北 広 島 市	7	9	4	20
	石 狩 市	0	0	1	1
空 知	長 沼 町	1	0	0	1
胆 振	苫 小 牧 市	6	5	4	15
	安 平 町	2	0	1	3
	む か わ 町	0	1	0	1
	厚 真 町	0	1	0	1
日 高	新 ひ だ か 町	0	1	0	1
	様 似 町	0	1	0	1
	え り も 町	0	1	0	1
	日 高 町	1	2	0	3
	平 取 町	0	0	1	1
	浦 河 町	1	0	2	3
	新 冠 町	0	1	1	2
合 計		48	48	43	139

5 卒業生の進路状況

卒業時点

進路先 卒業年度	一 般 就 労																			福祉的就労						そ の 他	計		
	農 牧 業 及 び 関 連 サ ー ビ ス 業	建 築 ・ 塗 装 業	製 造 業									サービス業								公 務 員 （ 公 的 機 関 ）	家 業 従 事	入 所 施 設	通所						
			鉄 工 ・ 金 属 製 品 製 造 業	木 工 業 （ 製 材 ・ 木 製 品 家 具 ）	紙 工 業	コ ン ク リ ー ト 業	セ ン 維 ・ 衣 類 製 造 業	皮 革 ・ ゴ ム ・ 化 学 製 品 製 造 業	製 菓 ・ 製 パン 業	食 品 製 造 ・ 加 工 業	そ の 他 の 製 造 業	運 輸 業	卸 売 ・ 小 売 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	ク リ ー ニ ン グ 業	医 療 ・ 福 祉	自 動 車 関 連 サ ー ビ ス 業	リ サ イ ク ル 業	そ の 他 の サ ー ビ ス 業				入 所 施 設	地 域 活 動 支 援	日 中 一 時 支 援			介 護 給 付	訓 練 等 給 付
昭和42年～50年	2	8	10	54	18	9	10	2	56	23	8				48	7		15	3	11	26						14	36	360
昭和51年～63年	9	10	10	145	21	10	15	12	74	117	3		1	8	157	9		26		8	18						28	25	706
平成元年～10年	3	10	8	85	8	1	1	5	68	98	3		6	3	87	1	13	3	17		3	65					129	25	642
平成11年～20年	4	6	7	5	2			3	9	47	1	19	79	17	27	9	3	9	19			39	1	2	7	22	168	52	557
21		1			1				1	3	2	1	6	1		1		2	1	2		3		1	2	20	6	3	57
22	1	1							3	4			5	2	1	1			1	2					1	23	1	2	48
23										8	1	2	8	1	1					1					3	28		1	54
24		1							1	2		7	9	1		2			1						1	25		5	55
25									4	4		1	5	1		3			2							33		1	54
26									1	2	1	3	6					2							2	33		3	53
27		1		2					1	1		8	7			1	1		2						2	26		2	54
28	2	2	1						4	2		8	7	3		1			2							19		2	53
29									3	1	1	5	6	2	2		1		2							24		7	54
30		1	1					1	4	1		6	6		1	5			2							22		1	51
31									1	4		9	5	1	1	1			2		1					19		2	46
2		1		1					1	2	1	5	10	2	1	1										21		5	51
3									2	1	3	4	11			3			2							18		2	46
4									2	3	2	5	6				1									22		5	46
5									2			4	6			1	1									33		2	47
合計	21	42	37	292	50	20	26	23	237	323	26	87	187	42	326	30	36	14	96	8	23	151	1	3	18	388	346	181	3,034

6 運営組織機構



7 職員

(1) 職員構成

(令和6年5月1日現在)

校長	教頭	事務長	主幹教諭	教諭	養護教諭	栄養教諭	指導実習助手 指導実習助手 実習担任教諭	専門 寄宿舎指導員 専門 寄宿舎指導員	事務主任	介護員	小計	非常勤職員 学校医 学校医・産業医	学校薬剤師 学校歯科医 学校薬剤師	合計
1	1	1	1	56	2	1	12	16	4	2	97	3	1	103

(注) 育児休業者及び会計年度職員を除く

(2) 職員一覧

職名等	氏 名	分 掌 等
校 長	山 本 貴 路	
教 頭	山 田 静	
主幹教諭	高 橋 淳	総務
一 学 年	教諭 麻 畑 佳代子	生産技術科 担任 研修
	教諭 戸 佐 仁 志	生産技術科 副担任 総務
	教諭 坪 内 駿	木工科 担任 生徒指導
	教諭 齊 藤 剛	木工科 副担任 文化
	教諭 宮 澤 裕 幸	工業科 担任 保健体育
	教諭 川 本 展 子	工業科 副担任 教務
	教諭 平 間 俊 二	家庭総合科 担任 総務
	教諭 相 原 江利子	家庭総合科 副担任 研修
	教諭 松 原 真 季	クリーニング科 担任 研修
	教諭 中 村 佳 史	クリーニング科 副担任 保健体育
	教諭 溝 畑 有 芽	窯業科 担任 文化
	教諭 金 石 正 之	窯業科 副担任 生徒指導
	教諭 小 嶋 早 恵	学年付 教務 Co.
	教諭 濱 谷 良 介	学年付 総務
	教諭 安 達 知 子	学年付 総務 舎監
	教諭 西 村 明 美	学年付 進路指導
	教諭 大 釜 大 樹	学年付 進路指導
	教諭 近 藤 洋 帆	学年付 文化
	実習担任教諭 石 岡 潤	学年付 保健体育
	実習助手 神 田 すみれ	学年付 教務
	介護員 今 村 邦 夫	学年付 教務
二 学 年	教諭 堀 江 充	生産技術科 担任 保健体育
	教諭 瓜 生 裕 晃	生産技術科 副担任 生徒指導 舎監
	教諭 小 田 雄 介	木工科 担任 保健体育
	教諭 吉 田 栄 治	木工科 副担任 研修
	教諭 三田村 祐 二	工業科 担任 教務
	教諭 澤 田 圭 佑	工業科 副担任 総務
	教諭 林 優 里	家庭総合科 担任 生徒指導
	教諭 尾 崎 副 美	家庭総合科 副担任 生徒指導
	教諭 奈 良 麻理子	クリーニング科 担任 文化
	教諭 古 東 崇	クリーニング科 副担任 文化
	教諭 坪 内 優 希	窯業科 担任 研修
	教諭 林 弘 平	窯業科 副担任 教務
	教諭 三 浦 慎 一	学年付 教務 Co.
	教諭 早 川 道 子	学年付 教務 専任Co.
	教諭 山 崎 英 哉	学年付 生徒指導
	教諭 赤 澤 有 輝	学年付 保健体育
	教諭 河 上 幸 久	学年付 進路指導
	教諭 林 恵 香	学年付 進路指導
	教諭 成 田 光 應	学年付 進路指導
	実習担任教諭 伊 藤 岳 学	学年付 生徒指導
	実習助手 松 野 毅 文	学年付 研修
	実習担任教諭 立 屋 まゆみ	学年付 文化
	指導実習助手 小 松 広 幸	学年付 総務
	指導実習助手 小 坂 悠佳子	学年付 研修
	介護員 越 湖 達 志	学年付 文化

事務職員

職名等	氏 名	
事務長	大 平 貢 弘	
事務主任	川 村 希	
専門主任主事	岩 崎 和 広	
	梶 照 美	
事務職員	坂 田 奈 央	

職名等	氏 名	分 掌 等
三 学 年	教諭 阿 部 勝 実	生産技術科 担任 研修
	教諭 矢 倉 一	生産技術科 副担任 生徒指導
	教諭 對 馬 康 祐	木工科 担任 生徒指導
	教諭 西 村 太 郎	木工科 副担任 文化
	教諭 江 口 岳 詞	工業科 担任 文化
	教諭 佐 藤 吉 樹	工業科 副担任 総務
	教諭 福 井 美 穂	家庭総合科 担任 総務
	教諭 樋 口 英 男	家庭総合科 副担任 保健体育
	教諭 清 水 沙 織	クリーニング科 担任 教務
	教諭 山 本 夏奈子	クリーニング科 副担任 研修
	教諭 今 井 かおり	窯業科 担任 保健体育
	教諭 矢津田 慎 二	窯業科 副担任 教務
	教諭 岩 瀬 由 妃	学年付 教務 Co.
	教諭 仲 島 朋	学年付 教務 Co.
	教諭 鈴 木 貴 夫	学年付 教務 専任Co.
	教諭 岩 橋 真 紀	学年付 研修
	教諭 猪 狩 由 佳	学年付 進路指導
	教諭 福 間 将 史	学年付 進路指導
	教諭 上 出 晋 嗣	学年付 進路指導
	実習助手 田 中 浩 明	学年付 生徒指導
	実習担任教諭 佐々木 元 治	学年付 研修
	実習助手 小 蕎 直 愛	学年付 教務
	指導実習助手 鈴 木 静 香	学年付 保健体育
	実習担任教諭 沼 倉 弘 明	学年付 総務
養護教諭	山 形 朋 子	保健体育
	駒 林 由 花	保健体育
栄養教諭	伊 藤 祐喜子	保健体育

寄宿舎職員

職 名 等	氏 名	分 掌 等
男子棟	専門寄宿舎指導員 杉ノ原 哲	1号室 保健美化
	専門寄宿舎指導員 友 田 悟	2・3号室 研修・指導
	専門寄宿舎指導員 荒 木 恵 一	4号室 文化
	寄宿舎指導員 松 山 望千子	5・6号室 庶務
	寄宿舎指導員 佐 藤 雅 俊	7号室 文化
	専門寄宿舎指導員 伊 藤 久 代	8号室 庶務
	専門寄宿舎指導員 田 村 昌 平	9・10号室 研修・指導
	専門寄宿舎指導員 伊 藤 充 雄	11号室 文化
	専門寄宿舎指導員 岡 崎 有 治	12号室 庶務
	専門寄宿舎指導員 笠 井 浩 樹	13・14号室 研修・指導
	専門寄宿舎指導員 小 熊 毅	15号室 保健美化
	寄宿舎指導員 宮 岸 里 子	16・17号室 保健美化
	専門寄宿舎指導員 大 場 奈穂美	1・2号室 文化
	専門寄宿舎指導員 伊 藤 享 好	3号室 庶務
女子棟	専門寄宿舎指導員 長 内 恵	4・5号室 研修・指導
	専門寄宿舎指導員 中 村 暁 子	6号室 保健美化

非常勤職員

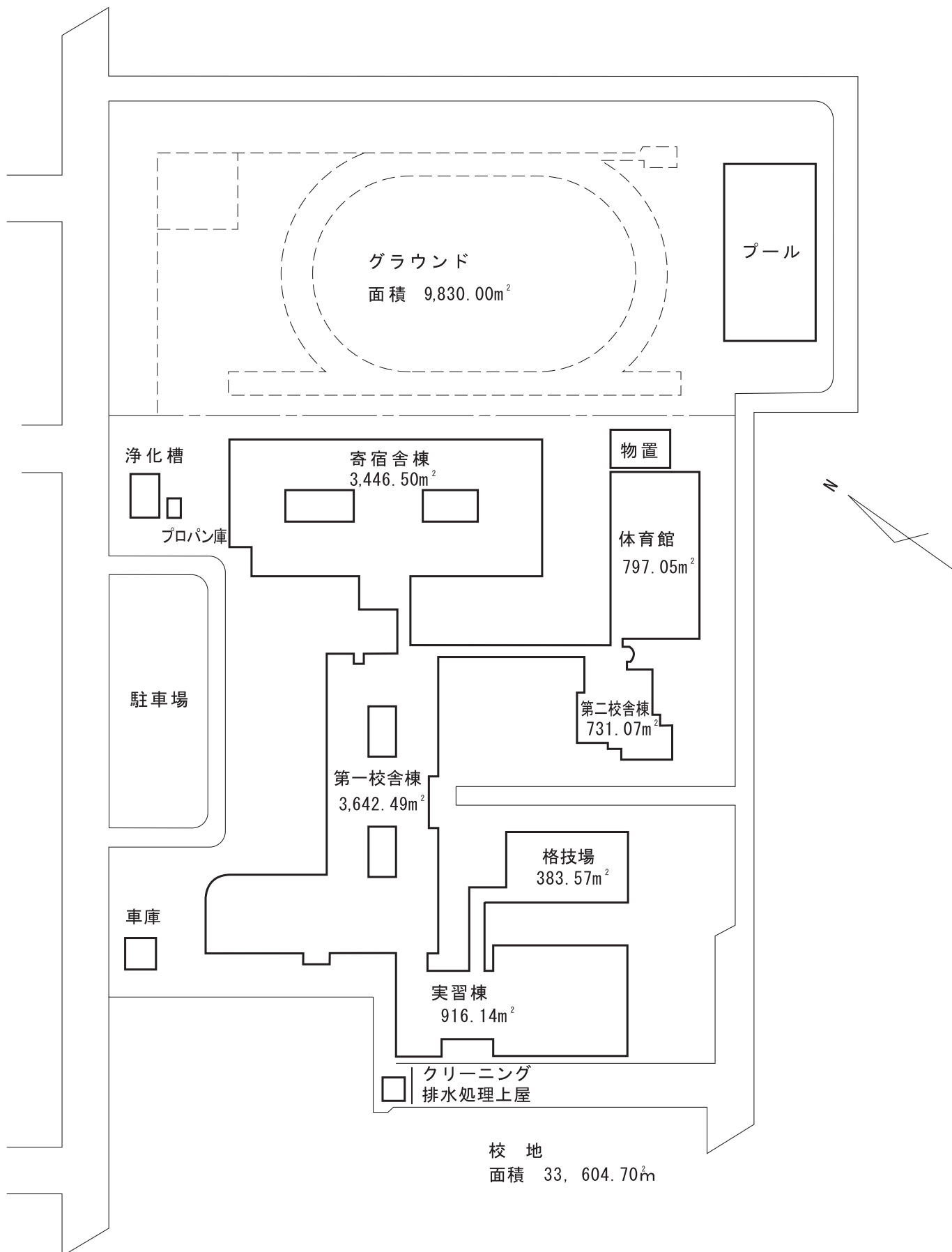
職名等	氏 名	
学校医・産業医	對 馬 伸 泰	内科
	齋 藤 航	眼科
学 校 医	穴 澤 龍 治	精神科
	秦 正 人	耳鼻科
学校歯科医	加々見 寛 行	
学校薬剤師	浅 野 尚	

※Co. は特別支援教育コーディネーターの略

8 校舎平面図



校地・校舎・寄宿舍 配置図



白樺高等養護学校の特別支援教育

■特別支援教育の推進■

学校、家庭、地域社会、関係諸機関との連携・協力を基盤とした「個別の教育プラン」を策定し、学校在学中から卒業後までの支援を継続していきます。

■地域のセンターとして■

地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たします。

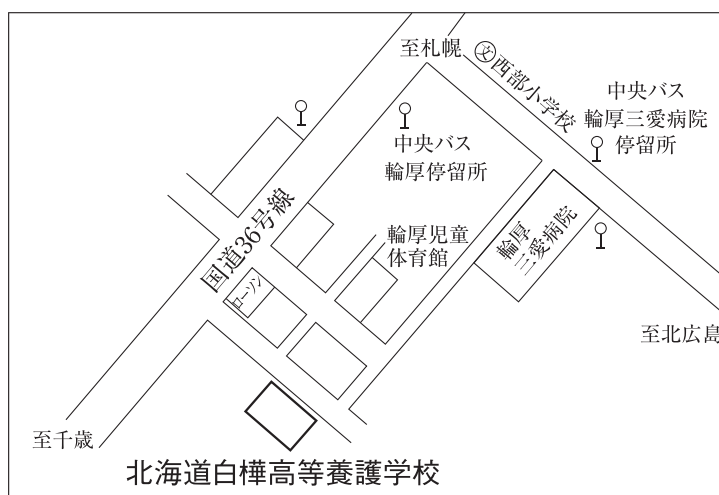
〔事業〕

- 教育相談の実施 ○公開研修会の案内と実施 ○資料・情報提供
- 研修図書、心理検査器具、教材の貸出し ○学校公開
- 中学校特別支援学級の体験学習 ○各種研修会への協力

■特別支援教育のネットワーク■

石狩管内の特別支援学校とともに、石狩教育局や近隣の市町村教育委員会や小・中学校、高等学校、関係諸機関と連携し、地域の特別支援教育を推進します。

学校の位置



- ・地下鉄福住駅より中央バス千歳行きで約30分
* 輪厚停留所下車徒歩6分
- ・JR北広島駅より
中央バス輪厚ゴルフ場経由福住行きに乗車 約20分
* 輪厚三愛病院停留所下車 徒歩8分